

子育てってイよね、を増やす。

「大人も子どももおいしい」 離乳食の開発。

中間発表2024.4.11

野菜Labo×広島大学 離乳食プロジェクト



子育て世代の応援

- ・子育てを楽しめる
- ・キャリアも諦めない

商品形態

栽培期間中農薬不使用の野菜

冷凍野菜ペースト

「お守りお野菜ペースト」

レンジで40秒チン！
でOK(30gの場合)



形状: 板状
内容量: 70g

クラウドファンディング

子育て世代の「時間」と「笑顔」を増やす！

地元農家さんの野菜で作る
「お守りお野菜ペースト」を
多くのご家庭に届けたい！



¥ 支援総額

666,300 円

目標金額 600,000 円

111%

支援者 **78** 人

残り **終了**

内、寄付型のリターン36名183,500円

ヒアリング

無印やこども園で親御さんへヒアリング

- ・好んで食べた野菜
- ・あったらいいなと思う離乳食
- ・お悩み



求められている離乳食の形・目指すべき先が明確に
良いものを届けたい！

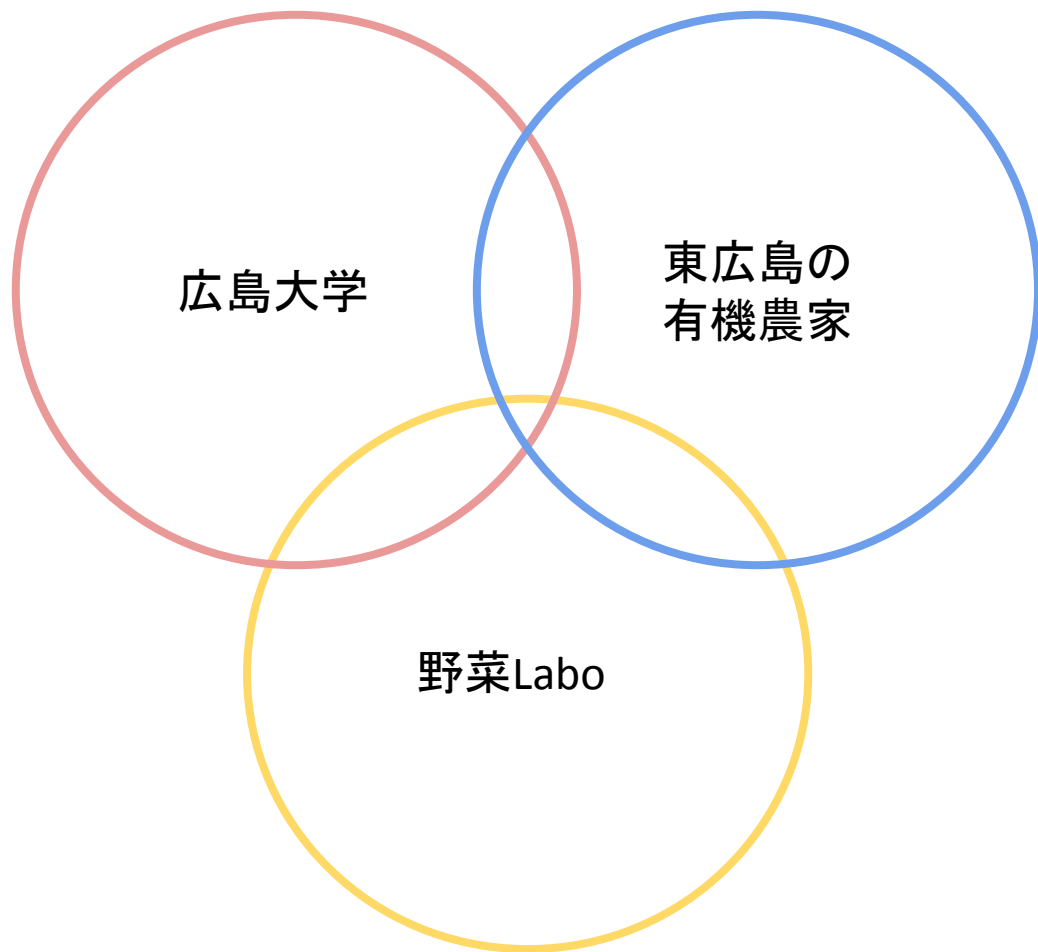


商品の方向性検討

この3者だからこそ届けられる離乳食



- ・野菜と丁寧に時間をかけて向き合う
- ・東広島のお野菜を安心安全で届ける
- ・ニーズに直接応える商品



レシピ作成(レシピチーム)

- ・調理方法研究
- ・レシピ作成

- ・卒業研究

5種類の野菜

ほうれんそう

赤にんじん

★ごぼう

黄色にんじん

にんじん



農家さん取材(制作チーム)

おいしい野菜を
大事な人に届けたい

環境を守りたい



この思いごと届けたい！



はなあふ



クラファンページ作成(制作チーム)

言葉選びや写真選び、細部にこだわる

伝えたい思い・目指す世界は？



農家さんの育てるピュアなお野菜そのままの味を、知ってほしい



ペーストに使っているのは、地元の農家さんが大切に育てているお野菜たちです。私たちの活動拠点となる「東広島市」には、強い思いを持った有為農家さんがたくさんいらっしゃいます。土地や環境、野菜に対して無理なく健やかに育った貴重なお野菜を、プロジェクトのために分けていただいています。



クラファンページ作成(制作チーム)

忙しい時も冷蔵庫にこの離乳食がそっとある安心感を

お野菜ペーストを日常のお守りに

子育てに奮闘する日々のなかで、いざというときに頼れるものがそばにあれば不安を和らげることができるかもしれません。「お野菜ペースト」は、離乳食作りの負担を少しでも軽減できるようにと、心を込めて作りました。私たちの商品が、冷凍庫にいつでもストックされている「お守り」のような存在になってほしいと願います。



リーフレット作成(制作チーム)



	1		2		3	
	多彩な色・風味・味に、出会う。		もぐもぐとゴックンをしやすく。		野菜の旨みと、栄養をプラス。	
対象年齢	初期 5・6ヶ月		中期 7・8ヶ月		後期 9-11ヶ月	
分量 1食	前半 5g	後半 10-20g	前半 20-30g	後半 30g	前半 30-40g	後半 40g
調理法	<p>最初は、お湯で溶いて滑らかに。 慣れたらペーストそのまま。</p>		<p>パサつきがちな魚・お肉の和物や、もう一品野菜が欲しい時のトッピングに。</p>		<p>焼き物に混ぜ込んだり、挟んでみたり、野菜の味わいや彩りを加えよう。</p>	
調理例	<p>そのまま食べる</p>	<p>お豆腐に乗せる</p>	<p>野菜クリーム煮に</p>	<p>野菜を和える</p>	<p>野菜パンケーキに</p>	<p>野菜おやきに</p>
	<p>おかゆに乗せる</p>	<p>ミルクに混ぜる</p>	<p>ヨーグルトの</p>	<p>肉・野菜を和える</p>	<p>野菜炊き込みご飯に</p>	<p>パンに巻いたり</p>

「届けるもの」
であるという意識

クラウドファンディング告知(制作チーム)

野菜Labox×広島大学 離乳食プロジェクト

子育て世代の「時間」と「笑顔」を増やす！

地元農家さんの野菜で作る
「お守りお野菜ペースト」を
多くのご家庭に届けたい！



for
子育てのお守り

“伝わっている”

¥ 支援総額

666,300 円

目標金額 600,000 円

111%

支援者 78人

残り 終了



私たちが目指すもの

お守り

レシピチーム

レシピ作成,
アレンジレシピ考案

制作チーム

農家取材
クラファンページ作成

私たちが目指すもの

レシピづくり

ペーストがあると楽！！

野菜っておいしい！

アレンジし放題！

お守り

農家取材
クラファンページ作成

農家さんの野菜
やっぱりいい野菜！

農家さん・大学生・子
育て世代を繋ぐ

離乳食開発プロジェクトを通して

気づき1

ご縁が
つながり
形作る



気づき2

実際の声
が
商品を明確に



気づき3

話し合いの
重要性・有効性



今後の展開

寄付型リターンのお届け



- ・告知手段の検討
- ・販売方法の整備

子育てっていいよね、
を増やす。

